

# 津麦ニュース 平成29年産 第2報

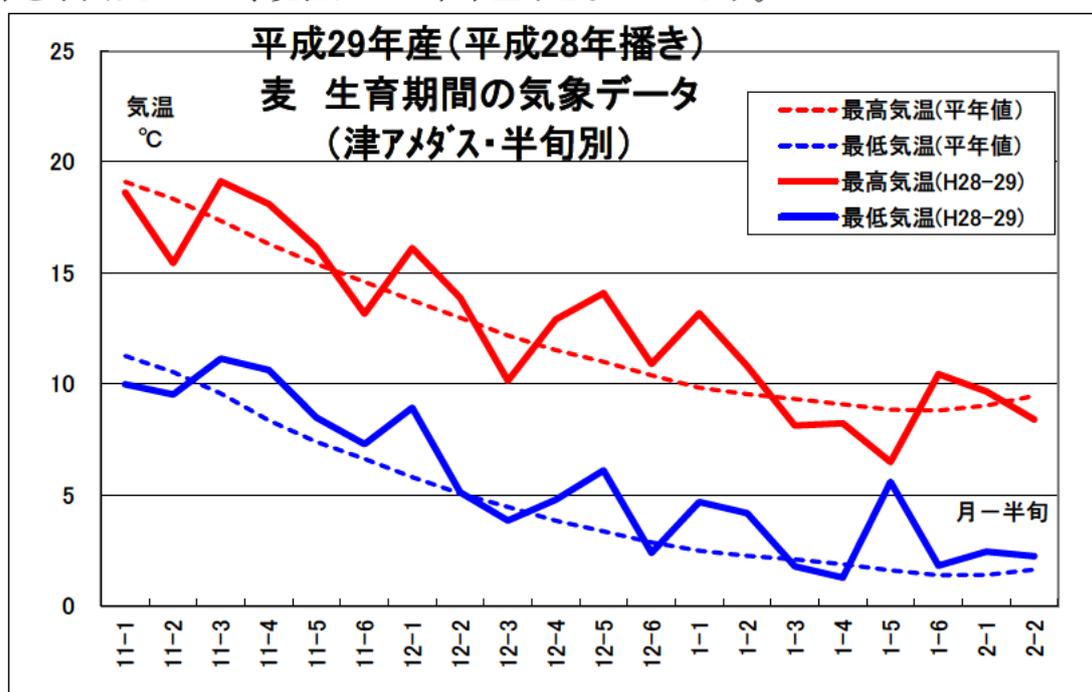
平成 29年2月8日 発行  
津地域農業改良普及センター  
電話:059-223-5103

麦の生育は順調です。  
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう。

## < 気象経過 >

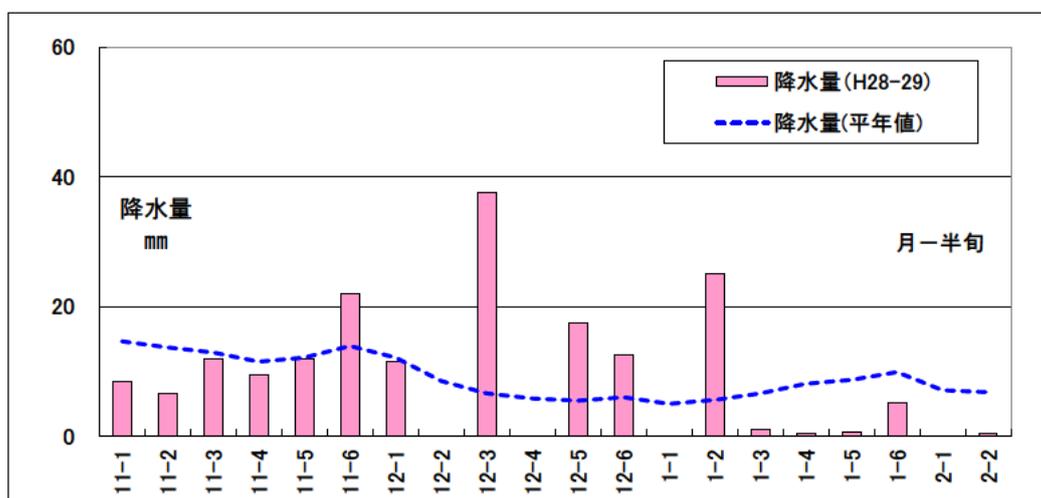
### ○気温

1月中旬まではやや高温傾向で推移しました。1月下旬は寒波の影響で一時的に平年を下回りましたが、現在はほぼ平年並みとなっています。



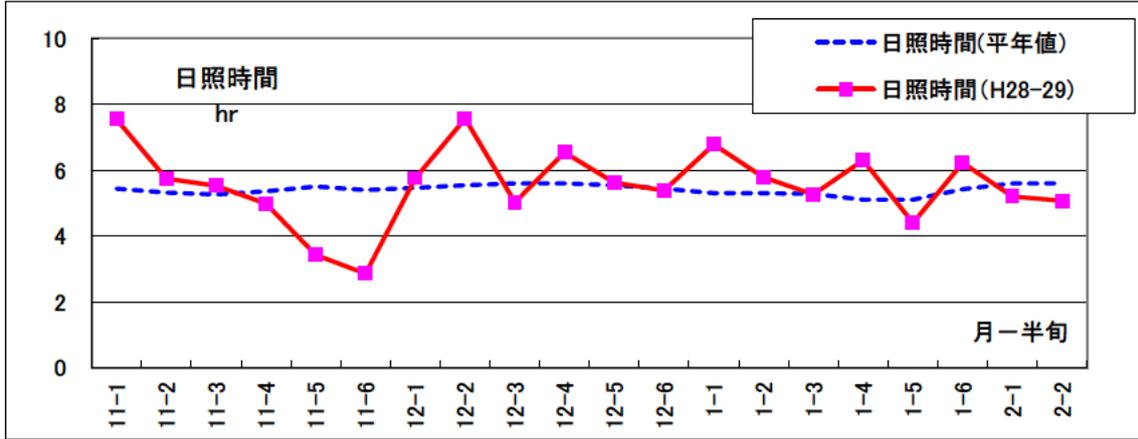
### ○降水量

11月から12月上旬にかけては定期的な降雨、12月中旬から1月上旬にかけては一度の降水量が多くなりました(12月の降水量は平年比178%)。1月中旬以降は降水量は少なくなっています。



○日照時間

11月は雨の日が多かった影響で平年より少なくなりました(11月の日照時間は平年比90%)。12月以降は平年並みで推移しています。



<麦の状況>

○ 生育状況

1月上旬までの高温傾向および12月上旬までの定期的な降雨により、生育は平年よりやや早くなっていました。しかし、1月中旬以降気温が低下したため、現在のところ生育は停滞気味です。

生育基準ほの調査結果を前年同時期と比較すると、草丈は前年より短く、茎数も少なく、葉齢の展開も遅くなっています。葉色はやや濃い傾向です(去年は暖冬の影響で生育がかなり早く進んでいました)。

○平成29年産(平成28年播)小麦生育基準ほの状況 【平成29年1月26日現在】

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
一志町 井生	あやひかり	11月16日	16	496	5.4	38.1
白山町 川口		11月10日	17	496	5.4	41.0
芸濃町 椋本	さとのそら	11月28日	10	236	4.3	44.3
安濃町 田端上野	ニシノカオリ	11月7日	22	459	5.6	38.4

(参考) 前年同時期の生育状況

【平成28年1月19日時点】

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
久居 稲葉	あやひかり	10月28日	24	463	6.3	31.9
白山町 川口		11月4日	27.7	915	6.5	41.8
安濃町 田端上野	さとのそら	11月7日	18	918	6.4	42.4
津 向井	ニシノカオリ	11月11日	27	763	6.0	39.2

○ 病虫害発生状況

現在のところ目立った病害や虫害は観察されていません。

## <今後の対策>

### ○ 追肥

現在の生育はほぼ平年並みとなっています。

11月中旬までに播種した麦は、6葉目が抽出していますので、追肥が必要です。

また、12月以降に播種した小麦については、葉色がうすくなってきたほ場や茎数が少なめと思われるほ場では、積極的につなぎ肥(窒素2kg/10a程度)を施用してください。

1回目の追肥は穂数確保を目的として実施します。

・6葉期を迎えたら、1回目の追肥(窒素2～3kg/10a)を施用してください。

・6葉期を迎える時期は、

11月上旬～中旬の播種では1月下旬頃、

11月下旬以降の播種では2月中旬以降、と予想されます。

また、6葉期を迎えるまでの期間が長くなりそうなほ場でも、茎数確保のために、積極的な追肥(窒素3kg/10a)をしましょう。

2回目の穂肥は、止め葉抽出期にやや少なめ(窒素1～2kg/10a)に行いましょう。

※肥効調節型肥料を使用している場合

本年は即効性成分がやや早く切れて、緩効性成分が溶出するまでに間が空いてしまう可能性があります。ほ場の様子を観察して、葉色がうすくなってきたほ場では、追肥(窒素1～2kg/10a)を行いましょう。

### ○ 麦踏み

麦踏みはほ場がよく乾いているときに、茎立ち期までに実施してください。

○小麦の生育予測 【平成29年2月8日現在】

品種	播種日	幼穂形成期	止め葉抽出期
あやひかり	11月5日	2月10日	3月24日
	11月15日	2月19日	3月29日
	11月30日	3月2日	4月5日
ニシノカオリ	11月5日	2月1日	3月15日
	11月15日	2月15日	3月25日
	11月30日	2月28日	4月5日

※三重県農業研究所が作成した麦生育予測システムVer9.2による予測

※気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヶ年)を使用